



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 アキレス株式会社  
 コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 伊藤 守

(氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5338-8112

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	42,805	4.6	1,090	17.3	1,306	23.2	1,221	67.0
29年3月期第2四半期	40,920	△3.1	929	69.7	1,060	14.4	731	△58.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,207百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △865百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	70.07	—
29年3月期第2四半期	40.01	—

※平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	77,771	44,475	57.2	2,573.63
29年3月期	79,720	44,837	56.2	2,541.84

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 44,475百万円 29年3月期 44,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	1.2	2,200	△13.2	2,600	△13.5	2,200	11.4	126.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	17,462,714 株	29年3月期	18,362,714 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	181,329 株	29年3月期	723,020 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	17,435,831 株	29年3月期2Q	18,287,073 株

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、国内では雇用・所得環境の改善が継続し、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの兆しがあるものの、天候不順の影響もあり消費者物価の基調は横ばいで推移しました。海外では米国経済が引き続き好調を維持し、EU圏経済も緩やかな回復がみられ、中国をはじめとするアジア新興国の景気も持ち直しの動きがありましたが、地政学的リスクの高まりにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、健康・生活関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高42,805百万円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益1,090百万円(前年同四半期比17.3%増)、経常利益1,306百万円(前年同四半期比23.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,221百万円(前年同四半期比67.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <シューズ事業>

ジュニアスポーツシューズブランド「瞬足」は、「STORM MAX」を新たに投入し拡販に注力しましたが、海外ブランドの台頭などにより前年売上を下回りました。一方、「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」は、主軸の婦人向け製品を全国の有名百貨店へ拡販し、前年売上を上回りましたが、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高7,377百万円(前年同四半期比6.8%減)、セグメント損失(営業損失)は760百万円(前年同四半期はセグメント損失832百万円)となりました。

#### <プラスチック事業>

車体内装用資材は、採用車種生産の好調により伸長しました。航空機内装用資材も大きく伸長し、全体でも前年売上を上回りました。

フィルムの国内事業は、電材用が好調に推移し前年売上を上回りました。輸出は、産業用と欧州・豪州向け窓用が好調に推移し、前年売上を上回りました。北米事業は、産業用、印刷用が好調に推移し、前年売上を上回りました。農業分野は、生分解用が好調に推移し、前年売上を上回りました。

建装資材の壁材は、好調な市況が継続し、新柄投入拡大との相乗効果により、前年売上を大きく上回りました。一方、床材は、主力のクッションフロアの低迷により前年売上を下回りました。

引布商品は、排水管用ジョイントが好調に推移したことに加え、エアータントと大型救助ボートの新規受注により、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高20,343百万円(前年同四半期比9.8%増)、セグメント利益(営業利益)は1,885百万円(前年同四半期比14.1%増)となりました。

### ＜産業資材事業＞

ウレタンは、車輛用が好調に推移しましたが、寝具・家具用などが低調な推移となり、前年売上を下回りました。

断熱資材は、システムが一般建築物向けの受注で苦戦しましたが、ボード製品は住宅向け、パネル製品は畜産向け、スチレン製品はブロックの受注が好調に推移し、断熱資材全体では前年売上を上回りました。

工業資材は、海外ユーザーを中心に半導体分野向け搬送用部材が伸長したことに加え、国内も製造業の国内回帰を受けた静電気対策品の販売が回復したことにより、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高15,083百万円(前年同四半期比4.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1,237百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は77,771百万円で前連結会計年度末に比較して1,948百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は48,974百万円となり前連結会計年度末に比較して2,387百万円減少しました。これは主に、電子記録債権が506百万円、商品及び製品が322百万円、仕掛品が117百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2,079百万円、現金及び預金が1,123百万円減少したことによります。固定資産は28,797百万円となり前連結会計年度末に比較して438百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が344百万円、投資その他の資産が85百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は24,724百万円となり前連結会計年度末に比較して1,477百万円減少しました。これは主に、電子記録債務が966百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が936百万円、その他流動負債が605百万円、未払法人税等が474百万円、未払金が425百万円減少したことによります。固定負債は8,571百万円となり前連結会計年度末に比較して109百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が83百万円、繰延税金負債が31百万円減少したことによります。

純資産の部は44,475百万円となり、前連結会計年度末に比較して361百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が339百万円、その他有価証券評価差額金が153百万円、退職給付に係る調整累計額が141百万円増加しましたが、自己株式の取得により686百万円、為替換算調整勘定が279百万円減少したことによります。なお、自己株式の消却により、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,504百万円減少しております。以上の結果、自己資本比率は57.2%となり前連結会計年度末に比べ1.0%好転しました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は8,825百万円(前連結会計年度末比1,123百万円減少)となりました。

営業活動の結果、増加した資金は2,046百万円(前年同四半期比1,349百万円収入減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,558百万円、売上債権の減少1,512百万円、減価償却費1,296百万円による収入と、法人税等の支払額723百万円、たな卸資産の増加527百万円、未払消費税等の減少430百万円、固定資産除売却損益295百万円、その他の負債の減少253百万円の支出によるものであります。

投資活動の結果、減少した資金は1,553百万円(前年同四半期比30百万円支出減)となりました。これは主に、固定資産の売却による収入725百万円と、固定資産の取得による支出2,260百万円によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は1,568百万円(前年同四半期比607百万円支出増)となりました。これは主に、配当金の支払額881百万円、自己株式の取得による支出686百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年8月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,951	8,827
受取手形及び売掛金	25,136	23,057
電子記録債権	2,625	3,132
商品及び製品	8,518	8,840
仕掛品	1,472	1,589
原材料及び貯蔵品	1,938	1,946
繰延税金資産	608	567
その他	1,196	1,087
貸倒引当金	△86	△74
流動資産合計	51,361	48,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,370	7,837
機械装置及び運搬具（純額）	5,150	5,489
土地	4,691	4,278
建設仮勘定	660	563
その他（純額）	542	592
有形固定資産合計	18,415	18,760
無形固定資産	434	443
投資その他の資産		
投資有価証券	4,023	4,092
退職給付に係る資産	3,006	3,027
繰延税金資産	1,691	1,667
その他	949	966
貸倒引当金	△161	△160
投資その他の資産合計	9,508	9,594
固定資産合計	28,359	28,797
資産合計	79,720	77,771

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,631	12,694
電子記録債務	2,065	3,031
短期借入金	2,233	2,232
未払金	2,743	2,317
未払法人税等	794	319
その他	4,734	4,128
流動負債合計	26,202	24,724
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期末払金	9	9
繰延税金負債	424	393
退職給付に係る負債	4,830	4,746
資産除去債務	365	370
P C B廃棄物処理引当金	50	50
固定負債合計	8,680	8,571
負債合計	34,883	33,295
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	9,742	8,238
利益剰余金	19,297	19,637
自己株式	△1,153	△335
株主資本合計	42,527	42,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,101	1,254
繰延ヘッジ損益	122	92
為替換算調整勘定	404	125
退職給付に係る調整累計額	680	822
その他の包括利益累計額合計	2,309	2,294
純資産合計	44,837	44,475
負債純資産合計	79,720	77,771



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	40,920	42,805
売上原価	32,377	33,527
売上総利益	8,543	9,277
販売費及び一般管理費	7,613	8,187
営業利益	929	1,090
営業外収益		
受取利息及び配当金	31	36
その他	225	258
営業外収益合計	257	294
営業外費用		
支払利息	18	16
その他	107	61
営業外費用合計	126	78
経常利益	1,060	1,306
特別利益		
固定資産売却益	2	398
補助金収入	58	—
保険差益	0	2
為替換算調整勘定取崩益	—	71
特別利益合計	60	472
特別損失		
減損損失	—	99
固定資産除却損	61	103
出資金評価損	—	17
特別損失合計	61	220
税金等調整前四半期純利益	1,059	1,558
法人税、住民税及び事業税	375	401
法人税等調整額	△47	△64
法人税等合計	327	336
四半期純利益	731	1,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	731	1,221

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	731	1,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188	153
繰延ヘッジ損益	△390	△29
為替換算調整勘定	△991	△256
退職給付に係る調整額	205	141
持分法適用会社に対する持分相当額	△231	△23
その他の包括利益合計	△1,596	△14
四半期包括利益	△865	1,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△865	1,207
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,059	1,558
減価償却費	1,216	1,296
減損損失	—	99
のれん償却額	16	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	127	△12
受取利息及び受取配当金	△31	△36
支払利息	18	16
為替差損益 (△は益)	125	7
持分法による投資損益 (△は益)	△75	△98
固定資産除売却損益 (△は益)	59	△295
出資金評価損	—	17
補助金収入	△58	—
保険差益	△0	△2
為替換算調整勘定取崩益	—	△71
売上債権の増減額 (△は増加)	2,683	1,512
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△341	△527
仕入債務の増減額 (△は減少)	△913	74
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41	△430
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△145	△83
その他の資産の増減額 (△は増加)	△308	△81
その他の負債の増減額 (△は減少)	57	△253
小計	3,446	2,691
利息及び配当金の受取額	213	267
利息の支払額	△16	△15
保険金の受取額	0	2
特別退職金の支払額	—	△175
法人税等の支払額	△248	△723
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,396	2,046
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△0	△0
固定資産の取得による支出	△1,649	△2,260
固定資産の売却による収入	25	725
投資有価証券の取得による支出	△18	△18
補助金の受取額	58	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,584	△1,553
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△80	—
自己株式の取得による支出	△148	△686
配当金の支払額	△732	△881
財務活動によるキャッシュ・フロー	△961	△1,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	△373	△48
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	477	△1,123
現金及び現金同等物の期首残高	7,955	9,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,433	8,825

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	7,915	18,526	14,478	40,920	—	40,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	79	248	327	△327	—
計	7,915	18,605	14,726	41,247	△327	40,920
セグメント利益又は 損失(△)	△832	1,652	1,209	2,030	△1,100	929

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,100百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	7,377	20,343	15,083	42,805	—	42,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	73	344	418	△418	—
計	7,377	20,417	15,428	43,223	△418	42,805
セグメント利益又は 損失(△)	△760	1,885	1,237	2,362	△1,272	1,090

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,272百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「シューズ事業」セグメント及び各報告セグメントに配分していない全社資産において、営業所の移転及び売却方針を決定したことに伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「シューズ事業」セグメントが61百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産が26百万円であります。

「産業資材事業」セグメントにおいて、売却方針の決定がされた資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては12百万円であります。